

## ■別紙2-②

## 航路再編に関する地島島民説明会結果（概要）

日時	令和2年7月16日（木）
場所	13:00～14:30 豊岡（地島漁村センター） 40人
参加者数	15:00～16:00 泊（泊公民館） 28人
主な意見	<p>① 母港を地島にしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大島が母港になると、船員が地島から出ていくことになる。定住促進に取り組んできたのに島の人口が減る。島にとって死活問題。</li> <li>・ 災害など万一のときに、島に船がないと対応できない。渡船には、急患を病院に運ぶ重要な役割もある。</li> </ul> <p>⇒（市）母港はまだ決まっていない。白浜は港の関係で船体に亀裂が生じている。そのため、母港については運輸局の意見を伺う必要がある。</p> <p>② しおかぜの運航は不安。時化に弱いため欠航が多くなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しおかぜは船体が高いので強風時に危ない。岸壁に当たりそうになることやテトラに乗り上げそうになることがあった。乗り心地が悪い。大島から地島へのルートは冬に風が強いため運航できない。</li> <li>・ 中学生や高校生は通学しないといけない。今のニュージのしまは、ほぼ欠航がないが、しおかぜになって欠航が多くなると、学校の授業についていけず、本土の子と差が生じる恐れがありとても不安。</li> <li>・ 新船建造をなるべく早くできないか。</li> </ul> <p>⇒（市）1航路2隻体制でどうしてもしおかぜに乗っていただく期間は生じる。船の建造には3年かかる。なるべく船の建造を急ぎ、しおかぜの運航期間をできるだけ短くしたい（1年程度の前倒しは可能）。</p> <p>③ 航路パターンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aパターン（大島～神湊～泊～白浜）の航路の場合、減便はどのくらいになるのか。具体的なダイヤ案を作成してほしい。</li> <li>・ 大島までに行くのは避けられないのか。1便減っても今のままが良い。</li> </ul> <p>④ ダイヤ案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3便神湊発が11時50分となっているが、中学生と通院帰りの方が間に合わない。12時20分に戻してほしい。</li> <li>・ 1便減になると思っていた。</li> <li>・ 最終便が遅くなるのは綱取りの勤務時間が長くなるため大変。</li> <li>・ 最終便は早くなると困る。</li> </ul> <p>⑤ 3隻体制の維持について（2隻体制への反対意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡船は島の原動力。船を失くすと原動力が薄れていく。</li> <li>・ 臨時船はどうするのか。イベントにも対応できない。</li> <li>・ 3隻あるのであれば、1隻を貸して収入を稼げばよいのではないか。</li> <li>・ 2隻体制のときに借りてくる船（19トン）に実際に審議員さんに冬に乗ってもらいたい。</li> <li>・ 国の厳しい状況もあるが、国会議員を利用して説得してほしい。</li> </ul> <p>⑥ バス・コミュニティバスとの連結が悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスとの連結が悪い。</li> <li>・ コミュニティバスを利用したいが連結が合っていない。</li> </ul> <p>⑦ 今後の審議の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島民説明会の意見を審議会に出して、その後は島民に返してくれるのか。審議会で決まって終わりなのか。</li> </ul> <p>⇒（市）大島や国の意見も伺って、審議会で審議いただいた後、修正した案を作って、再度島民への説明会を行いたい。</p>